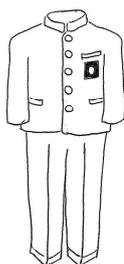


制服について

Cタイプ制服のイメージ

Aタイプ制服



Bタイプ制服



令和5年度にブレザータイプを導入しました。これまでの「男子学生服」「女子セーラー服」という表現を以下のように変更し、決まりも改定します。

Aタイプ（これまでの「男子学生服」）

学生服（黒）上下 白ワイシャツ

夏用スラックス（黒） 白半袖開襟シャツ

Bタイプ（これまでの「女子セーラー服」）

紺セーラー服上下 リボン 夏用セーラー服 夏用スカート

Cタイプ（新制服 全員共通のブレザータイプ）

ブレザー（深緑） スラックス/スカート 白ポロシャツ 夏用白半袖ポロシャツ

ポロシャツについては、指定以外のものも可（白無地）。ワンポイント可。

※ 令和5・6年度は移行期間とし、A～Cタイプの混在を認めます。

※ 学生服ズボンの上にブレザー、学生服の下にポロシャツ、などのミックスは令和6年度末まで可能です。下はA、Bタイプで上がポロシャツ、といったものも認めていきます。

※ 3年生もCタイプを購入し、着用してもよいものとします。また、男女関わらずスラックス・スカートを選択することができます。

衣替え期間を設定していません。式がある日、学校行事や写真撮影の関係で冬服・夏服のどちらかを指定することがあります。それ以外は、気候に応じて各自が考えて適した服装としてください。

制服以外

- ☆ ベルト…地味な色（紺・黒・茶の無地。柄のあるもの、極端に幅の広いものや細いものは使用しない）

- ☆ く つ…靴は体育の授業に参加できる運動靴（厚底、ハイカット、スパイクは不可。
高価なものは避ける） ※色については指定しません。

- ☆ くつ下…靴下の色は白、紺、黒、グレーの単色（ワンポイント・ライン可、ニーハイソックス、ルーズソックス、くるぶしが出るもの、素肌が透けるような薄手のものは不可）

- ☆ 通学用カバン…特に指定はない。通学にふさわしく、両手があくように、肩からかけたり背負えたりするもの

- ☆ 中 着…地味な色のもの（ワンポイント可）

- ☆ 上履き…指定のスリッパ（青色）

- ☆ 名 札…「学年色の台布」に縫いつけ、ホック、安全ピンなどでとめる。ケースも可。
（令和6年度1年生：青色）

- ☆ 体操服関連…学校指定のもの。（名字の刺繍を購入時にしてください。譲り受けた物を名前の刺繍をし直して使用することもできます。）

- ※ 熱中症予防の観点からキャップや日傘での登校を認めています。また、体操服登校も期間を設けて実施しています。

- ※ 防寒具の使用期間・決まりについてはプリントを配布します。資料の最後に各家庭に配布したものを載せておきます。

防寒具の着用について

防寒具着用期間 : 11月ごろ～3月末まで

- ・ 防寒具として制服の下にセーター等を着用することができます。ただし、えり無しの地味なものとしします。フード付きのものは不可です。
- ・ 登下校時に、手袋・マフラー・ネックウォーマー・耳当てを着用することができます。
- ・ 登下校時、トッパーコートやダッフルコート、ダウンジャケット等（紺、黒、グレー）を着用することができます。
- ・ 防寒具としてタイツを着用することができます。色は黒としします。

【防寒具使用上の留意点】

- 1 コート・手袋・マフラー・ネックウォーマー・耳当ての使用は、登下校時のみとする。着脱は、教室で行ってよい。
- 2 職員室へ入るときは、防寒具を身に付けない。
- 3 教室の各自のロッカーやカバンに入れ、自己責任の下で保管する。
- 4 手袋・マフラー・ネックウォーマー・耳当ての色・柄は、特に指定しないが必要以上に派手にならないように気をつける。
- 5 マフラーは制服の中に入れて使用しない。
- 6 マフラー・ネックウォーマーのみの使用も認める。
- 7 学生服を脱いで、セーター類の状態で活動しない。
- 8 中着（ポロシャツ・カッターシャツの下、セーラー服のセーター類の下）として着る長袖のシャツは、地味な色のもの（ワンポイント可）とする。
- 9 コートについては、ベンチコート等、裾が膝下よりも長いものは不可とする。
- 10 黒タイツについては、下記の注意事項を参照。

※ 携帯カイロについて

- 1 手や身体などを暖める目的以外に使用しないこと。
- 2 休み時間以外は、ポケットなどにしまっておくこと。（休み時間は外に出して使用してよい）
- 3 必ず家で処分すること。（学校のゴミ箱や登下校中に捨てない）

＜黒タイツ着用に関する注意事項＞

- ・ タイツは、黒色で無地のものとする。
（模様や柄、ラメが入っているようなものは不可。）
- ・ タイツのみの使用を認める。（くつ下は履かなくてもいい）
- ・ タイツの上からくつ下を履いてもよい。
- ・ 体育時はタイツを着用せず、くつ下を履く。